野菜・野菜・野菜！

　スーパーで買ってきたトマトもおいしいけど、自分たちで作ったトマトはもっとおいしい。地域の人に学校のキュウリをほめてもらうと、自分がほめられたみたいで誇らしい。

　皆さんにも、もっと岐阜農林の野菜のことを知ってほしい。野菜は面白い、農業は深い。そんな思いで作っています。

VOL.4　四季折々

　4月17日。植え付けて間もないメロンの苗です。本校では土耕のメロンと、この写真のように袋栽培（隔離土耕）のメロンの2種類を作っています。袋栽培では、中の土を変えることで連作することが可能になります。

何の写真？

　ホリバーという粘着シートです。黄色を好む害虫を誘引します。オンシツコナジラミや、ハモグリバエがこのシートにくっつくので、発生状況を把握し、農薬散布の目安にします。

野菜クイズ4

　キュウリは昼の長さが長い時と短い時のどちらが実をつけやすい傾向があるでしょうか。（答えはVOL.5で）

VOL. 3の答え。　7～10日。キュウリは未熟な果実を収穫するので、収穫までの期間が短いのです。

野菜・野菜・野菜！

　スーパーで買ってきたトマトもおいしいけど、自分たちで作ったトマトはもっとおいしい。地域の人に学校のキュウリをほめてもらうと、自分がほめられたみたいで誇らしい。

　皆さんにも、もっと岐阜農林の野菜のことを知ってほしい。野菜は面白い、農業は深い。そんな思いで作っています。

VOL.5　四季折々

　5月○日。メロンの花が咲きました。メロンは、雄花と雌花が別々に咲く性質があります。そのため、雄花の花粉を雌花の先端の柱頭に付けてやる人工授粉が必要になります。朝10時前に終えることが人工授粉の大切なポイントです。

何の写真？

　微生物農薬を散布しています。天然油脂や、微生物農薬などを利用し、できるだけ化学農薬を使わない農業に取り組んでいます。

　そのためには早期の防除が欠かせません。

野菜クイズ5

　トマトは花が咲いてから何日くらいで収穫できるでしょうか。平均的な気温が続いたと仮定します。（答えはVOL.6で）

VOL. 4の答え。　キュウリは昼が短くて、気温が下がってきた方が雌花をつけやすい性質をもっています。

野菜・野菜・野菜！

　スーパーで買ってきたトマトもおいしいけど、自分たちで作ったトマトはもっとおいしい。地域の人に学校のキュウリをほめてもらうと、自分がほめられたみたいで誇らしい。

　皆さんにも、もっと岐阜農林の野菜のことを知ってほしい。野菜は面白い、農業は深い。そんな思いで作っています。

VOL.6　四季折々

　ミニトマトの実が熟してきました。雨よけハウスの中ではなく、露地での栽培は難しいです。よく見ると完熟に近い実は割れています。雨による裂果が起きました。ここ数日の降雨が原因と思われます。

何の写真？

　トマトとキュウリのつるを地面に並べ、その長さを示しています。トマトは8メートル、キュウリは13メートルを超えるものもあります。トマトは27花房、キュウリは96節ありました。

野菜クイズ6

　トマトはどこから熟すでしょう。果房の先端？奥？写真をよく見るとわかりますね。（答えはVOL.7で）

VOL. 5の答え。　温度によりますが、45日くらいかかります。同じ果実でもトマトのほうがキュウリよりはるかに時間がかかるのです。